

第2回

【機械木工講座（1）】小刀使用法、ペーパーナイフをつくる

[1] 小刀使用法

ナイフは私たちの生活の中で大変便利な道具であるが、使い方を誤ると自分や他人を傷つけてしまう危険な道具にもなってしまいます。

注意点

- ・ナイフを人に向けてはいけない。
- ・使用しない時には、必ず刃をしまう。抜き身のまま持って歩くのは危険。
- ・正しい持ち方と、切り方を身につける。

ナイフをぬく

さやを持ち、数回机の上でナイフの先を軽くたたく。

（ナイフのついていない方を手元側で持つ）

徐々に刃が見えてきたら、ゆっくりとナイフを抜く。



ナイフを持つ

大きな木や竹を切る時はグーで柄を握る。



ナイフで削る

小さなモノを削る時は、左手の親指をナイフの峰にあててナイフを押す。細かい細工をするときは親指をナイフの峰にそえる右利きの場合、右手は動かさず左手をひくと、ナイフをカンナのように使える。（ナイフを持った右手を、勢いをつけて削る物から自分の前方に向けてつくださないこと！）



- ★ ナイフを他人に手渡すときは、めんどうでも、いったん刃をたたむ・さやにおさめるなどしてから、グリップを相手側に向けて渡す。置くところがある場合はグリップを相手側に向けて置き、相手に受け取ってもらう。

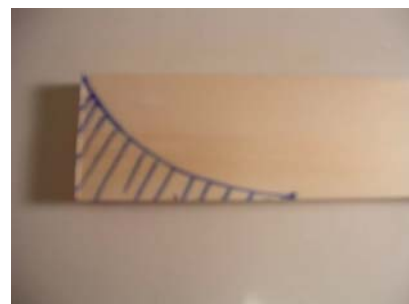
第2回

【機械木工講座（1）】小刀使用法、ペーパーナイフをつくる

[2] ペーパーナイフをつくる

30mm×150mm×9mm の板を利用する。

刃になる部分の輪郭を書く。



右奥図の斜線部分をナイフで削り取る。

刃を横からみたところ。



完成



やすりをかけて刃先を整えてもよい。